

# 平成25年度 新潟市特別活動部 活動報告

部長 渡辺 隆志

## 1 研究主題

よりよい学級・学校生活を創り出す学級活動

## 2 研究の概要

新潟市では『子ども一人一人が精神的、社会的に「自立」していくためには、社会の一員であることを自覚し、他者との望ましい関係の中で自分自身を高めていくことが大切である』とし、全教育活動を通じた「自律性」と「社会性」の育成のために、特別活動が果たす役割が大きいことを示している（「新潟市が推進する生徒指導の取組」より）。そのような中で、新潟市特別活動部では、話し合い活動を中心とした授業研究に加え、事前の活動の振り返りから議題選定、話し合い活動、活動実践に至る一連の流れについての実践研究を通して、「よりよい学級・学校生活を創り出す学級活動」のあり方について研究してきた。

特に、今年度は8月に研究の成果を発表する機会をいただき、子ども一人一人が「自律性」と「社会性」を身に付け、共感的な関係をつくりながら学級集団として高まっていくためには、子どもの思いや願いや学級の課題を「可視化」「顕在化」させながら活動を積み重ねていくことが大切であることを、これまでの研究の総括として発表した。

## 3 研究の実際

7・8月 市小研研究発表会の発表内容検討

※ 8月21日 市小研研究発表会(会場：新潟テルサ)にて実践発表

8月 全部員による持ち寄りレポート・実践発表

9月 指導案検討会及び「児童による情報交換会」打合せ

※ 9月17日 第36回「児童による情報交換会」開催

実行委員長：鳥屋野小学校 廣川 純平 教諭

・ 5つの分科会に分かれ、各校の活動紹介やよりよい取組について話し合う。

11月 研究授業

第1学年「2がっきのかかりをきめよう」

授業者：新通小学校 伊比浩太郎 教諭

指導者：新潟市総合教育センター 小林 広紀 指導主事

12月 講座「話し合い活動・指導のポイント」

講師：大形小学校 霜村 晶子 教諭

1月 講座「入門期における話し合い活動・指導のポイント」

講師：太田小学校 稲葉 美之 教諭

指導者：漆山小学校長 石田 正文(市小研理事)

## 4 成果と課題

伊比教諭の実践から、入門期からの系統的な話し合い活動の指導の在り方を追究していくという新たな研究の方向を見いだすことができた。今後は、低学年における話し合い活動の指導のあり方を探りながら、小学校6年間を見通した系統的な指導計画の作成などへと広げていきたい。